

事業コード	H28-建-継-01		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道108号		担当課長名	菅原 喬
箇所名	由利本荘市矢島(前杉バイパス)		担当者名	長谷川 一仁
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光、交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

## 1. 事業の概要

事業期間	H16 ~ H29(14年)	総事業費	38.4億円	国庫補助率	7/10																																																												
事業規模	○延長L=2,450m、幅員W=6.0(11.0)m(1.25+3.0+3.0+1.25+2.5)m																																																																
事業の立案に至る背景	○一般国道108号は宮城県石巻市を起点とし秋田県湯沢市を経て由利本荘市へ至るルートで、日本海側と太平洋側を横断的に結び、産業、経済の地域間交流を促進する重要な路線である。当計画区間は線形不良に加え、幅員狭小でかつ急勾配である。特にスノーシェッド区間は大型車のすれ違いに困難を極めるほか、由利高原鉄道のアンダーパスの建築限界は4.1mしかなく円滑な交通の確保に難を呈し、とりわけ冬季には通行困難ばかりでなく滑走や接触事故が多発している。このため、線形改良と併せて車道の拡幅及び歩道を設置し、安全で円滑な交通確保と併せて広域的な幹線道路と旧鳥海・矢島町の生活道路としての機能強化を図るものである。																																																																
事業目的	○交通の隘路区間(幅員狭小、線形不良)の解消 ○道路防災対策・危機管理の充実(第二次緊急輸送路) ○老朽化したスノーシェッドの解消																																																																
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>評 価 時</th> <th>増 減</th> <th>理 由 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>4,000,000</td> <td>3,836,271</td> <td>-163,729</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>2,970,617</td> <td>3,002,534</td> <td>31,917</td> <td>防雪柵の設置延長による増</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>380,138</td> <td>370,942</td> <td>-9,196</td> <td>物件補償額算定による減</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>649,245</td> <td>462,795</td> <td>-186,450</td> <td>請負による精算</td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  国庫補助</td> <td>2,200,000</td> <td>2,685,000</td> <td>485,000</td> <td>補助率の変更</td> </tr> <tr> <td>  県債</td> <td>1,620,000</td> <td>1,035,793</td> <td>-584,207</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>180,000</td> <td>115,478</td> <td>-64,522</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	事業費	4,000,000	3,836,271	-163,729		経費					工事費	2,970,617	3,002,534	31,917	防雪柵の設置延長による増	用補費	380,138	370,942	-9,196	物件補償額算定による減	その他	649,245	462,795	-186,450	請負による精算	財源					国庫補助	2,200,000	2,685,000	485,000	補助率の変更	県債	1,620,000	1,035,793	-584,207		その他					一般財源	180,000	115,478	-64,522		事業内容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工		
	計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等																																																													
事業費	4,000,000	3,836,271	-163,729																																																														
経費																																																																	
工事費	2,970,617	3,002,534	31,917	防雪柵の設置延長による増																																																													
用補費	380,138	370,942	-9,196	物件補償額算定による減																																																													
その他	649,245	462,795	-186,450	請負による精算																																																													
財源																																																																	
国庫補助	2,200,000	2,685,000	485,000	補助率の変更																																																													
県債	1,620,000	1,035,793	-584,207																																																														
その他																																																																	
一般財源	180,000	115,478	-64,522																																																														
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工																																																															
事業の進捗状況	○平成27年度末で事業進捗率92%(用地進捗率は100%)。 平成26.11.1 全線供用開始																																																																
事業推進上の課題	○特になし(平成27年度以降は、旧橋撤去、取り付け道路改良舗装および旧道処理)																																																																
関連する計画等	○第2期ふるさと秋田元気創造プラン																																																																
情勢の変化及び長期継続の理由	○特になし																																																																
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">県管理国道改良率</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">整備率(整備済み延長/路線実延長)</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>○ 成果指標</td> <td>● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>93.0%</td> <td></td> <td>データ等の出典</td> <td>道路課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>93.6%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td>101%</td> <td></td> <td>把握の時期</td> <td>平成28年 4月</td> </tr> </table>					指標名	県管理国道改良率				指標式	整備率(整備済み延長/路線実延長)				指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a	93.0%		データ等の出典	道路課調べ	実績値 b	93.6%				達成率 b/a	101%		把握の時期	平成28年 4月																														
指標名	県管理国道改良率																																																																
指標式	整備率(整備済み延長/路線実延長)																																																																
指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																													
目標値 a	93.0%		データ等の出典	道路課調べ																																																													
実績値 b	93.6%																																																																
達成率 b/a	101%		把握の時期	平成28年 4月																																																													

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○当該区間は最小半径がR=40m、また最急勾配もi=8.0%で堆雪幅もなく通学路区間に指定されているが歩道もない状況であり、一年を通した交通の安全確保が望まれる。平成8年には小坂地区において死亡事故が発生している。	14点
緊 急 性	○市町村合併支援道路の位置づけあり。 ○老朽化したスノーシェットの通行を解消することができた。	15点
有 効 性	○第二次緊急輸送路指定路線であり、災害や救急医療施設へのアクセス道路としての活用も見込まれ、防災計画に重要な路線である。 ○平成16年3月に土砂崩落が発生し、長期間全面通行止めとなったことがある。	28点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.1であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 46億円 ・総便益の現在価値 51億円 ○計画交通量 8,400台/日となっている。	15点
熟 度	○平成27年度末の事業進捗率は92%である。 バイパス区間は平成26年11月に供用を開始している。	20点
判 定	ランク ( ●I ○II ○III )	92点
	緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。
----------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 道路改築事業（地域間交流・連携促進）

事業コード ( H28-建-継-01 )  
箇所名 ( 由利本荘市矢島 (前杉バイパス) )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	8		
		・車道幅員<5.5m	2箇所	5			
		・最小半径<100m	1箇所	3			
		・最急勾配>5%	0箇所	0			
		・冬期堆雪巾なし					
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	7	6			
		・現道の混雑度 $\geq 1.0$	4件該当			6	
		・現道の旅行速度 $\leq 30\text{km/h}$	3件該当			5	
		・現道の事故率 $\geq 50$ 件	2件該当			4	
		・通学路指定で歩道なし	1件該当			2	
		・重大交通事故が発生	該当項目なし			0	
	計		15	14			
	緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無	あり	10	10	
			・県の主要プロジェクト	あり	0		
			・地域振興プロジェクト				
緊急度の高い課題の有無		あり	5	5			
		老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし			0	
計		15	15				
有効性	道路の位置づけ	緊急輸送道路	第一次輸送路	10	8		
		第二次輸送路	8				
		第三次輸送路	6				
		指定なし	0				
	救急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	10	10			
		間接的に補完する	6				
		アクセスへの貢献は小さい	3				
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10			
		低下傾向	6				
		必要性が低い	3				
	計		30	28			
	効率性	事業の投資効果等	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	
1.0未満			0				
計画交通量		5,000台/日以上	5	5			
		1,000台/日以上~5,000台/日未満	3				
		1,000台/日未満	0				
コスト縮減		あり	5	0			
		なし	0				
事業中止による影響		既投資額の損失大	5	5			
	既投資額の部分的損失	4					
	既投資額の損失が少ない	3					
計		20	15				
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗(事業費)	8割以上完了	10	10		
		5割以上完了	8				
		1割以上完了	5				
		1割未満	2				
	用地買収の進捗(面積)	8割以上完了	10	10			
		5割以上完了	8				
		1割以上完了	5				
		1割未満	2				
未着手	0						
計		20	20				
合計			100	92			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		